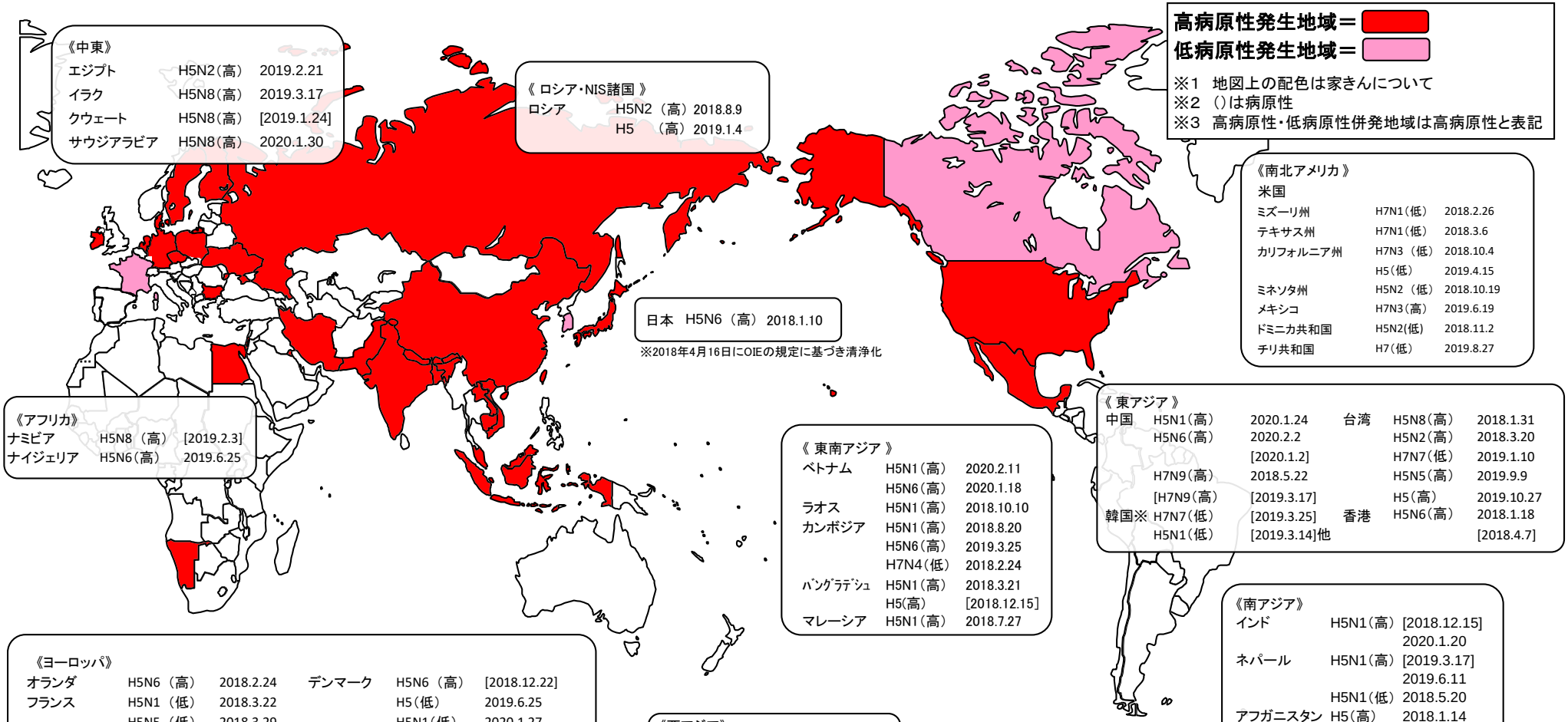
家きんの高病原性・低病原性鳥インフルエンザの発生状況（2018年以降）



※1赤字は更新点
※2 日付は発生日又は検体回収日に基づく
※3［ ］は野鳥及び愛玩鳥等における発生を示す
※4 本図は発生の有無を示したもので、その後の清浄性確認については記載していない
※5 Immediate notification のうち最新のものを記載
※6 韓国のウイルス亜型の詳細については「韓国における野鳥からのインフルエザウス分離事例」を参照

出典:OIE報告（Immediate notification）等

2020年3月16日現在